



つなごう未来へ！島原半島世界ジオパーク

ジオパークであり 続けるための取り組み

島原半島世界ジオパーク
キャラクター「ジーオくん」

島原半島ジオパーク協議会 ☎0957(65)5540

島原半島世界ジオパーク
キャラクター「ジーナちゃん」

ジオサイト⑪ 江戸時代の噴火がつくった景観 **新焼溶岩流**



芝桜公園の駐車場付近から見る新焼溶岩流



「一枚岩」に登り、景色を楽しむ島原市の小学生

島原市下折橋にある芝桜公園の駐車場から平成新山を見ると、平成新山の麓のやや右手に、ごつごつとした岩肌をもつ丘（黄色い矢印の下）が見えます。これは新焼溶岩流がつくった丘です。新焼溶岩流は今から223年前の1792年に起きた寛政噴火の際に普賢岳の山腹を流れ下った溶岩流で、この溶岩流がつくる丘は、丘ができた時の様子から「焼山」と呼ばれています。

1792年2月27日(新暦)、激しい地震活動が続いていた普賢岳の山腹から噴火が始まりました。雪の中で起きたこの噴火によって火口から溶岩があふれ出し、穴迫谷と呼ばれる谷の中を流れ始めました。溶岩はおよそ2カ月かけて、1日平均30メートルほどのスピードでゆっくり山肌を流れました。この溶岩の流下と桜の開花の時期が重なったため、溶岩と桜を同時に見物しようと、たくさんの人が酒と肴を片手に

山に登り、宴を開いていたそうです。しかし、新焼溶岩流の噴出が止まった旧暦の三月朔日(4月21日)から、島原城下は再び激しい地震に見舞われるようになり、今はすでに失われている桶平の地すべりを経て、眉山(天狗山)の大崩壊へとつながっていきます。

新焼溶岩流は、雲仙天草国立公園の中で最も規制が厳しい特別保護地区に指定されています。この溶岩流の先端部には遊歩道が整備されているので、この溶岩流に登れば、223年かけて培われた、島原半島本来の自然の姿を楽しむことができます。特に70メートルもの断崖絶壁を上からのぞきこむことができる「一枚岩」には、毎年島原市内の全小学6年生がジオパーク学習で訪れ、溶岩がつくった地形を体感しながら、そこから見える景色に隠れた歴史を学んでいます。

今回は「龍石海岸」を紹介します。

スポーツ専門指導員育成事業講演会 **入場無料**



プロフィール

- ・長崎県立口加高等学校
- ・陸上競技部メンタルトレーナー
- ・崇城大学講師(人生と職業)

2月10日(火) 午後7時～8時30分 深江ふるさと伝承館

- 講師…感動教育家 高光りょうすけ氏
- テーマ…「子供の可能性を伸ばすカギはあなたの手の中にある」
- ☑誰でも参加できます(申込不要)
- 定 300人程度

●主催…南島原市教育委員会 ●主管…総合型地域スポーツクラブ「TEAMひまわり」 園スポーツ振興課 ☎050(3381)5084



カモシカの剥製

このカモシカと同じかは分かりませんが、震災後に役場を見下ろせる山の上で何度か姿を見せていたそうです。カモシカなどの動物は道路を横断することが多い様なので、車との接触による交通事故が心配ですが、直接、人に危害を及ぼすような動物ではありません。しかし、昨年12月ごろからは人を襲う可能性がある体長1.5メートルほどのツキノワグマが町内で目撃されました。

造成が一段落すれば、重機の音や振動は無くなるので、人が来ない山奥で再び落ちて暮らせる日々が早く来ればと思います。

南三陸町で津波被害があった低地部の集団移転をするため、山を切り開き、造成工事を進めています。その影響なのでしょう。本来、人里には姿を見せない野生動物をし

ばしば見かけます。動物園でしか見たことがない体長2メートルを超えるカモシカが、交通量の多い幹線道路を夜間に悠々と歩いており、とても驚きました。

東日本大震災災害派遣レポート
南島原市災害派遣職員 林 田 昭 義
Vol.33



地域の絆を考える

東日本大震災発生から3年9カ月となった12月11日、北有馬町自治会長会主催による地域の絆講演会が開催されました。

講師は、南三陸町の平成の森仮設住宅自治会長を務める畠山扶美夫さん。畠山さんは「災害時、被害は最大限の想定をしなければならない。なぜなら命はリセットできないから。空振りを恐れず、避難することが大切。今は、地震だけが災害ではない。雨が降れば大雨災害。風が吹けば竜巻災害。雪が降れば大雪災害が発生している。自分の命は自分で守るべきだ」と話し、参加者は聞き入っていました。

